

製品名: 嗅覚受容体 10A5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15127**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	OR10A5
別名	OR10A5; OR10A1; Olfactory receptor 10A5; HP3; Olfactory receptor 10A1; Olfactory receptor 11-403; OR11-403; Olfactory receptor-like protein JCG6
遺伝子 ID	144124.0
SwissProt ID	Q9H207
免疫原	抗血清はヒト OR10A5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 200-249

背景

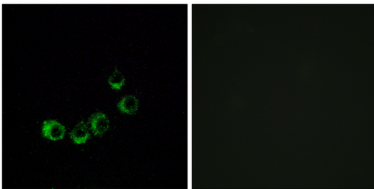
嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚知覚を誘発する神経反応を惹起します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコー

ディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物における嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質の命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 嗅覚受容体 (潜在的)。味覚知覚に関与している可能性があります。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 舌に発現する。,

研究分野

嗅覚伝達;

画像データ



OR10A5 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。